

長田じんじやの おそうじ

真庭市立八束小学校

二年生 まかべ ゆ う

十二月二十七日、いとこたち 三人で じんじやに 行き
ました。

「さむそうだから、そうじしょ。」

と、はるとくんが 言いました。みんなで、

「さんせい。」

と 言いました。雪が 入って かみさまが さむそうだと
思いました。かいだんと 本でんと、みんなが 歩く 道を
しました。どうしたら そうじが できるか わからなかつ
たので、みんなで そうだんしました。ゆうたくんが、
「そうだ。すぎの えだを あつめて、ほうきに しよう。」
と 言いました。わたしは いい アイディアだなと 思い

ました。みんなで すぎの えだを 五本くらい あつめて、
まどめて もって、ほうきを 作りました。サツサツサツと
はいたら、雪の こなが 風に とばされて、本でんから
外に とんで いきました。つぎに、かいだんを おりて、
ゆうたくんが、

「みんな ならんで。」

と 言ったので、はるとくんと わたしは 年れいじゆんに
ならんで、すぎの えだで 作った ほうきで、右から 左
へ おけて はきました。下から 上まで はきました。そ
れから 歩道を みんな 一れつに ならんで 左から 右
へ はいて いきました。これは、どういう ほうきなのか
きめました。

「これは すみずみまで きれいに して、これは みんな
が 遠くまで はけない ときに やく立つ ほうきで、
これは さつきと 同じ ほうき。」

と、ゆうたくんと はるとくんが 話し合って きめて い
ました。つぎに、おさいせんを 入れる ところに 行って
はきました。ゆうたくんが、

「足、つめたい。」

と言いました。はるとくんは、

「だけど、かみさまの ためだから がんばろう。」

と言うと、みんな やる気が 出て、とても がんばりました。わたしは 歩道を して、はるとくと ゆうたくんは、おがむ ところを そうじしました。はるとくんが、

「ここ やって。」

と よんだので、

「はいよ。」

と言って、歩道と おがむ 場しよと どちらも しました。本でんを 出た ところに、大きな 木が 二本 あります。木の みきに ちよつと 雪が かたまって かたくなつて いたから、その 木も そうじしました。かきこじぞう みたいに、つめで ガリガリと、かきおとしました。手で パンチも しました。また 年れいじゆんに ならんで、サツサツサツと はきました。みんな さいごまで がんばりました。そして、そうじが おわると、ゆうたくんが、

「また、明日も しようね。」

と言いました。すぎの 木を 元の 場しよに もどして、帰りました。お父さんに 話を すると、

「よう がんばったね。」

と ほめて くれました。

かみさまが うれしく なって ほしいな。